

二十 ありがとうございます。

では、第二の質問に入らせていただきます。

前後いたしますが、ゲートボールのグラウンドについては、市長のお答えで所管を定めていただくということなのでお礼を申し上げます。これは老人の方々の要望でございます。現在福生市に十一面あるというお答えでございますが、十一面といっても、実際は使えないような所もございまして、福生球場にあるものは、あれは野球が始まりますと使えない。実際問題としては、十一面とは言っても名刺だけのものもあり、こういうこともいろいろ会とよく相談していただいて、今後は、十分に窓口を一本化してやっていただきたいと思います。います。そういうような市長のお答えでございますので、これはほかの方のお答えをいただくわけにいきません。管轄がまだ決まっておりますので、そういうことで、ぜひともお願いしたいと思えます。これは要望ということで、この辺で終わります。

次いで、西口再開発のことをついでに質問いたしますが、どうも

西口再開発について、一応そのB案が出てきた、報告書が出てきたわけでございますけれども、そのB案についても、この前五十七年三月にでき上がっていたのが、実際に全協に出てきたのが九月であるというようなことで、非常に対応が半年もおくれて出てきたというような、その点からかなり私としては遅いんじゃないかと考えているわけです。その前に一般質問いたしましたときに、その報告書は、このB案を作成する以前に、地元のコンセンサスを得て、四画等はそれからやっていくのがいいんじゃないかということを示しておいたつもりであるにかかわらず、こういうものをおつくりになって出してしまったわけです。ですから、一応第二の質問といたしましては、報告書の中に盛り込んでいること、そのことについて質問をさせていただきます。

第一番としてですね、駅前広場、これは大体三千平方メートルということが載っております。この三千平方メートルをやるためには、橋上駅をつくらなければならないということが書いてございます。その広場について橋上駅の、どの程度進んでおるか、それとですね、駅前広

場ですから、東京都との話し合いがあるわけですが、都との話し合いはどの程度進んでおるのかということが第一の質問でございます。それから第二に、この中に隣接する小学校は長期的には移転を促進し、跡地の有効利用を図るということが書いてございますが、どのような進めるつもりであるのか、そのことを第二点としてお尋ねいたします。

それから第三に、総合的に高度化された堅い建物は残して、その残りを再開発事業で行うようになっておるとあります。ですから、その堅い部分について、高い建物について計画道路―表通りは十二メートルというような計画らしいのですが、その部分について、でき上がった時点でのいう処理をなさるのか。また、ほかの道について、もしもこういう処分をするのかとか、その点をまず第三にお尋ねをいたします。

それから第四に、B調査の報告書に第三街区のことが載っておりますが、第三街区に地下から三階までの自動車駐車場がここに載

っておりますが、その第三街区の総面積が二万七千三百八十六、駐車場面積が六千六百六十五、その容積率は二・九〇、このような大きなものが駐車場として計画が出されているわけですね。ごらんのとおり、各市では、駐車場というのほとんど赤字と、経営が成り立たないんだということになっておるようです。ですから、そういうものがこの建物の中に入って、果たして採算がとれてくるのか。そういうことが第三街区の地元の方々に了承が得られるのかどうか、そういうことについて一応どのような形でこれから交渉がされるのか、これについてお尋ねをいたします。

それから同じく第五番目として、第三街区のこの開発Bの報告書が出される時分に、角に新しいビルが建ち始めたわけですね。名前は申し上げられませんが、新しい堅い建物とみなされるのか、建ったそういうことについて市の方としてはそれについてどのような対応をして、また、今後どのようなように処理していかれるのか、その点について市側のお考えを聞かせていただきたい。

それから第六番目に、それからそういうふうに書いてあります。西武線の福生市東り入れの必要があるというようなことが書いてあります。その点について、市の当局としては西武線東り入れについてどのような対応をなさってきたか、これが第六番目の質問でございます。最後に第七番目、組合施行となっております二一街区、三二、三街区について、もちろん施行するには準備組合が必要であるが、どの程度進んでいるか。以上七点について明快な御答弁をお願いいたします。以上でございます。

○建設部長（内田和雄君） ただいまの質問にお答え申し上げます。順不同のことが出るかもしれませんが、御容赦をお願いしたいと思っております。

まず、駅前広場の関係でございますが、規模的には東口が四十平方メートルとなっております。大体四十平方メートルぐらいが必要ではないかというようなことで検討をしてみたいわけですが、な

かなか西口につきましては、非常に御指摘のとおり、堅い建物も駅前にございますし、その辺をどう今後していくかという大きな問題が残りますが、一応平面的には二千五百平方メートル程度の広場を考えた、四千平方メートルの機能を上乗せするためにパデストリアンデッキという形をとりまして、車と歩行者を分けて安全を確保する、それで広場にしていくというふうな考えがあるわけでございます。当然、これは国鉄用地の中にも検討の中では入っているわけですが、これはその公共施設の整備計画協議会というのがございまして、その中にも国鉄の本社の方が入っておりますので、その人たちとも協議を続けておりまして、国鉄とその件については協議中でございます。

それからあと、東京都の関係でございますが、東京都につきましては、この整備協議会の中に、これには建設省の都市局の方とか、東京都の都市計画局の街路課長とか、交通企画課長とか、そういう方もこの中に入っております、これを作成、検討につきましては、

いろいろな御意見をちょうだいしており、そういう形では向こうの担当の方も、一応承知はされているわけです。これはまた、具体的にになりますと、いろいろな文書の問題とかいろんな問題が出てまいります。そういう中では話はしてございます。また、都庁へ行ったときには、そのような話を切らないように、できるだけ行って、いろんな話をしたりして現在おります。

それからあと、駅舎改造でございますが、非常に駅舎が、いま現在でも、すでに非常に朝方混んじやって、下に電車がいのりの上に降りられないで乗れないというような現象が非常に起きています。そういうことで、市民の方からも苦情をいただいているところでございます。そういうところで、当然、この西口再開発についての橋上駅の問題もございしますが、やはり人口がふえてくるに従いまして、非常に駅の利用者も多いというようなことから、当然、この駅舎改造については、橋上駅にして、もう少し乗降客がスムーズにいけるように考えなくてはいけないと思っておりますし、当然、西

口再開発の中には、これを橋上駅にしていかなければいけないと思っておるわけです。

そんなことで、今後、橋上駅につきましても国鉄の方ともいろいろ話をして、費用負担というようにあるわけでございますが、国鉄側では費用負担は非常に無理だということ、昭島の駅等でも地元がかなりお金を払っているというのが現状でございます。その辺もございしますので、西口再開発以前の問題としても考えなければいけないのではないかということで、検討を進めてまいりたいと思っております。

それからあと、堅い建物のことでございますが、確かに御指摘のとおり、非常に堅い建物がございまして、それを残すか壊すかというような問題があるわけでございますが、いまのこの計画の中では、原則的には残すというようにことで計画してあるわけでございます。これは、前回時点では五棟ぐらいを残すというような案になっていたわけですが、また、この報告書の中でも、問題点

と課題という中で、関係者とその点については話し合いをしていくというふうなことになるうかと思ひます。

あと、第三街区の駐車場でございますが、駐車場でございますので、公共的な施設としてやはり施行というか、市がやっていくことになってくるかもしれませんが、非常に、確かにかなりの面積的に言っても、採算という問題については、非常に問題があるんではないかというふうに思うわけでございます。いろいろ計算方式があるわけでございますが、この検討の中の資料では、大体十年ぐらいたたなければ、なかなか黒字にはならないんじゃないかというふうな計算では出てくるわけですから、これらもまた、実際に仕事に入るときには、当然、地元の方ともよくお話し合いをして決めていかなければならないことと思ひますので、もう少し具体的にになったら、突っ込んで話をしていきたいと思ひます。

それからあと、角地で、堅い建物ができているというふうなお話で、名前を申し上げてみますと、田辺ビルではないかと感ず

ると思ひますが、一応その問題については、建てる前にもお話し申し上げたりしているんですが、事業のときには壊して、一つの大きなビルに加わるというふうな考えを申しておられますので、またその点、その時期が来ましたらよくお話しをいたしまして、検討して考えてまいりたいと思ひます。

それからあと、西武線の乗り入れでございしますが、これは以前から西武線を福生駅までというふうなことで、いろいろ整備等の話もしてきたようでございますが、なかなか現実にはむずかしいというお話が返ってきているようでございます。しかし、福生駅の場合、いま駐車場になっておりますが、いま個人の所有になってますあそこに、大体十六メートルほどの土地所有者の了承を得て、一応用地をあけてあるような現状になっているわけでございますが、これは非常にむずかしい問題であらうと思ひますし、また将来の夢として、一つの願望的なことで書かれたようなこともあらうかと思ひます。また、西武鉄道の方でも採算というふうなこともあると思ひま

して、なかなかいい返事がもうえなひではないかというふうに思っています。理想としては、西武線ということは非常に重要なことではないかというふうに思っています。

それから、準備組合の問題でございますが、第三街区を第一番目ということで進めて、話をいろいろしたんでございますが、まだ、一部地主さん等の関係でそれ以上先に進んでいないということは現実でございます。駅前第一街区の方からは、一部の人から、こちらから先というふうな声も聞いております。いずれにいたしましても、先ほど市長が申し上げましたように、これからそれらを踏まえまして説明と指導に当たってまいりたいと思っております。

それからあと、一小の移転でございますが、将来構想として載せてあるわけでございますが、大体第一ステージから第五ステージまでというふうなことで、逐次いくような形になっているわけですが、また、第五ステージ以後に生まれくる将来展望ともいうような形で書かれているわけでございます。また、これはもっと先になら

うかと思いますが、学校問題につきましては、非常にこれもむずかしい問題があるうと思っておりますので、これはまた、こちらの本当の将来展望のような形で書いてあるんですが、教育委員会との問題もありますし、住民との問題もありますし、これはまたいろいろむずかしい問題が出てくるというふうに思っておりますので、また、これは第五ステージが終わった以降の将来展望というふうなことでございまして、それを踏まえて、またいろいろ考えていきたいと思っております。

以上、順番が不同でございますが、回答とさせていただきます。
○ 二十番(村尾栄次君) まことに懇切丁寧にお答えをさせていただきます。

第一、二と七項でございますけれども、いずれにしても、何も進んでないというような感じが、進んでいるのか、進んでいないのか、今後問題ということでございますので、今後ということは、進んでなかったんだというふうに受け取ってよろしいかどうか。そ

うふうな観点で私は受けとめましたので、そのような感じで進めていきたいと思うわけでございますけれども、西口再開発が、これはおくれればおくれるほどでなくなるんですよね。

これは周りの状況から見て、秋川が大型の所づくりができて、昭和飛行機の昭島駅の反対側に大赤に大きな建物が出てきて、これは商圏が変わってくるんです。福生は、このままだと、どんどん地盤沈下してくるということでございまして、これは私も、市長が三年前に商店街の発展ということでスローガンを掲げてお出になられたわけでございまして、私もそれに賛成いたしました。まして、市民クラブ一同、目標を何としてもやり抜くんだということで応援させていただいたわけでございますけれども、私もこれが進めないということとは、われわれ議員の責任でもございしますので、そういう意味では二度にわたって質問しているわけでございます。このままうまくないということになると、私もその責任ではないかというふうに考えておるわけでございまして、いづれにしても、この再開発と

五万人以下の都市の再開発ということは、この前に申し上げたとおり、すずめをミサイルで撃つほどむずかしいんだと、だからがんばっていたきたいということをお願いしたというふうに思っていますけれども、なかなか全国的に成功例というのは少ないそうです。

それにはどうしたらいいかという、やはりこれは、地元がどうのこうのということよりも、これは私も責任がありますけれども、やはりその中に飛び込んで、西口再開発というものは、福生市を発展させるためにどうしても必要なんだと、そういう信念で、第三街区の方々、反対なさっている地主さんもおいびになるようなことを聞きましたけれども、飛び込んで当事者としてやっていくという信念でないと、これは進まないんじゃないかというふうに思っているわけなんです。中津川市でもやっぱりそういうことを市長さんがおっしゃっておりまして、私は政治生命をかけてやったと、ゴーサインを出したのだけれども、寝れない晩が続いたんだということ、この再開発はできませんでしたということを書いてたのを、私は記憶に

新たにしておりますけれども、やはりこういうことは、指導者ということですね。全部がまとまって話し合つて、何遍でも行つて説得すると、そういうことではないとできないんじゃないかというふうに思ふわけです。ですから、それでもどうしてもだめなんだと、これはだめだということになれば、また、それはそれなりの道が開けてくるんじゃないかと思ふわけなんです。一応この報告書ができてから、もう三月に書いてあつて、発表したのは九月ですけども、一年間という歳月があつたわけですから、やっぱりそういうふうな努力を私はしてほしかったなあというふうに思ふわけですね。今後、市長も先ほどおっしゃつていたとおり、十二月までは準備組合をつくるように努力をしたいという言葉は私は信じますので、一応準備組合が十二月ごろで済むのではないかというふうに考えますので、一応今後の問題にしたいと思ふわけでございますけれども、ただ、要望的か、あるいはその開発計画が、どうしても準備組合でできないと、これは人のやることです。ですから、できないか

もしれない。それは仕方がないと思ふんです。そういう場合には、市としても考えざるを得ない事情に立ち至つてくるだろうと思ふんです。そういう場合にでも、やっぱりこれだけはやりたいということがあると思ふんです。

まず第一は、福生駅の橋上駅ですが、これはもう通勤の方々がわかりだと思ふんですが、非常に混雑している。降り口は一方しか開かないんですから、あれを何とかして両方に降りるようにして混雑をなくすとか、そういうことは積極的にやっていていいんじゃないかというふうに思ふわけですね。

それからもう一つは、商店街の方々のために、駐車場はこれをつくつてあげなきゃいけない。この間、公園の方へ地下駐車場を、というふうなことの陳情がありましたけども、そういうものから地下駐車場をつくつてあげて、商店街の発展の一助にもしてあげるということ、またやってあげなくちゃいけないだろうと思ふんです。それから、考え方を變えて、駅前商店街のアーケードですね。

アーケードもあるとセタあたりに非常に引き立ちますから、ああいうものもいろいろ考えて、商店街の皆さんと考えてまちをきれいにするようにしていく、そういうこともやっていっていいんじゃないかというふうに思うわけですね。

だから、西口再開発について、市長に格殺の努力、これは政治生命をかけてやるんだという気持ちでやっていただくと一緒にですね、これについては人間のやることでありますので、仮にもこういう意見を申し上げた点についても考えてあげていったらいいんじゃないかと、いうふうにも思うわけですが、この点についてちょっとと御意見がありましたら、市長に一言お願いしたいと思います。

○市長（田村匡雄君） 自席からお答えいたします。確かに、村尾議員さんのおっしゃるとおりでございます。いろいろと福生駅前、御案内のとおり、八十年ばかりの歴史がございます。青梅鉄道ができてから自然発生的に開発されたという長い歴史のある町でございます。そこをいろんな要素があるわけ

でございます。その場でいろいろと問題もあるわけでございます。再開発ということになりますと、いままでの住環境からまろつきり変わった環境にしていくというふうになるわけでございます。非常にむずかしい問題に取り組んだわけでございますけれども、しかし、先ほども申し上げたとおり、現在の経過状態が非常に、何と云うんですか、上昇気運に乗りないような状態の所が多うございまして、御案内のとおり、店も何軒か閉めておるようなことでございまして、問題が多くなっております。そういった時点ですから、かえって開発をしたいというふうに私どももまた逆に考えておるわけでございます。まして、皆さんに御心配をかけておるわけでございます。それでは、一つぐらい準備組合をつくったかどうかというお話しのようでございます。いますけれども、私どもも職員を叱咤いたし、私ももちろんそうでございますけれども、さっき申し上げたとおり、五十八年度中、あるいは五十九年の初めにでも、ぜひひとつ準備組合をどこか一つつくりまして、その場所から一つの発展の基礎をつくっていきなさいと

いうふうに考えております。大変に御心配かけて申しわけないんですけれども、そのような考えを持っておりますので、御協力を今後いただきたいというふうに思っています。

○議長（田村市郎君）二十二番。

村尾議員にあらかいめ申し上げます。残り時間があと二分でございます。御承知ください。

○二十二番（村尾栄次君） どうもいろいろ御丁寧な答弁、ありがとうございます。ございました。ひとつ商店街の皆様、あるいは福生市全部の幸福につながることでございますので、ぜひひとつ早急にこの点を解決していただくように要望いたしましたして、終わります。ありがとうございました。

○議長（田村市郎君）午後二時四十五分まで休憩いたします。

午後二時三十五分 休憩

午後二時四十七分 開議

○議長（田村市郎君）休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、一番 林田 武君。

（一番 林田 武君 登壇）

○一番（林田 武君） 貴重な時間をお許しいただきまして、私の一般質問に当たらせていただきますことを感謝申し上げます。

会議規則第八十六条の規定により、すでに通告のとおり、私の一般質問は、教育問題についてであります。以下十二点にわたり質問いたしますので、明快な答弁をお願いいたします。

先般来、お話にも出ております福生一中、二中で起きた校内暴力は申すまでもなく、小・中学生の非行化の問題が日本全体の問題であり、日本の将来を憂える重大な問題であることは論を待ちません。非行化の原因が家庭であり、学校であり、社会であり、政治であり、といういろいろな要素が入り組んで、解決いたしたくとも、だれ一人答えを出せないのが現状であります。しかし、将来の日本、二十一世紀の日本を考えると、私たちは安閑としておるわけにはいかないのです。

私は、小中学生の非行化と教育の荒廃の原因を探るとき、どう